

2026年3月期 決算概要

掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載する情報の、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

2026年3月期 決算サマリー



通期

(前年同期比)

売上高2,405億円 (+49億円 +2.1%) 営業利益216億円 (+31億円 +17.0%) 経常利益218億円 (+33億円 +18.0%) 純利益149億円 (+24億円 +19.1%)

売上高、各段階利益 いずれも過去最高を更新

売上高：16期連続増収、営業利益・経常利益：2期連続増益、純利益：4期連続増益

上期

(前年同期比)

売上高1,195億円 (+46億円 +4.0%) 営業利益93億円 (+28億円 +43.6%) 経常利益93億円 (+28億円 +43.3%) 純利益64億円 (+21億円 +48.1%)

**原料の高止まりが続く中で価格改定※が反映
小売り不調により製品枚数98.1%**

下期

(前年同期比)

売上高1,210億円 (+3億円 +0.2%) 営業利益123億円 (+3億円 +2.7%) 経常利益124億円 (+5億円 +4.1%) 純利益84億円 (+3億円 +3.6%)

**価格改定が一巡
スーパーマーケットを中心に拡販が進み、製品枚数101.3%**

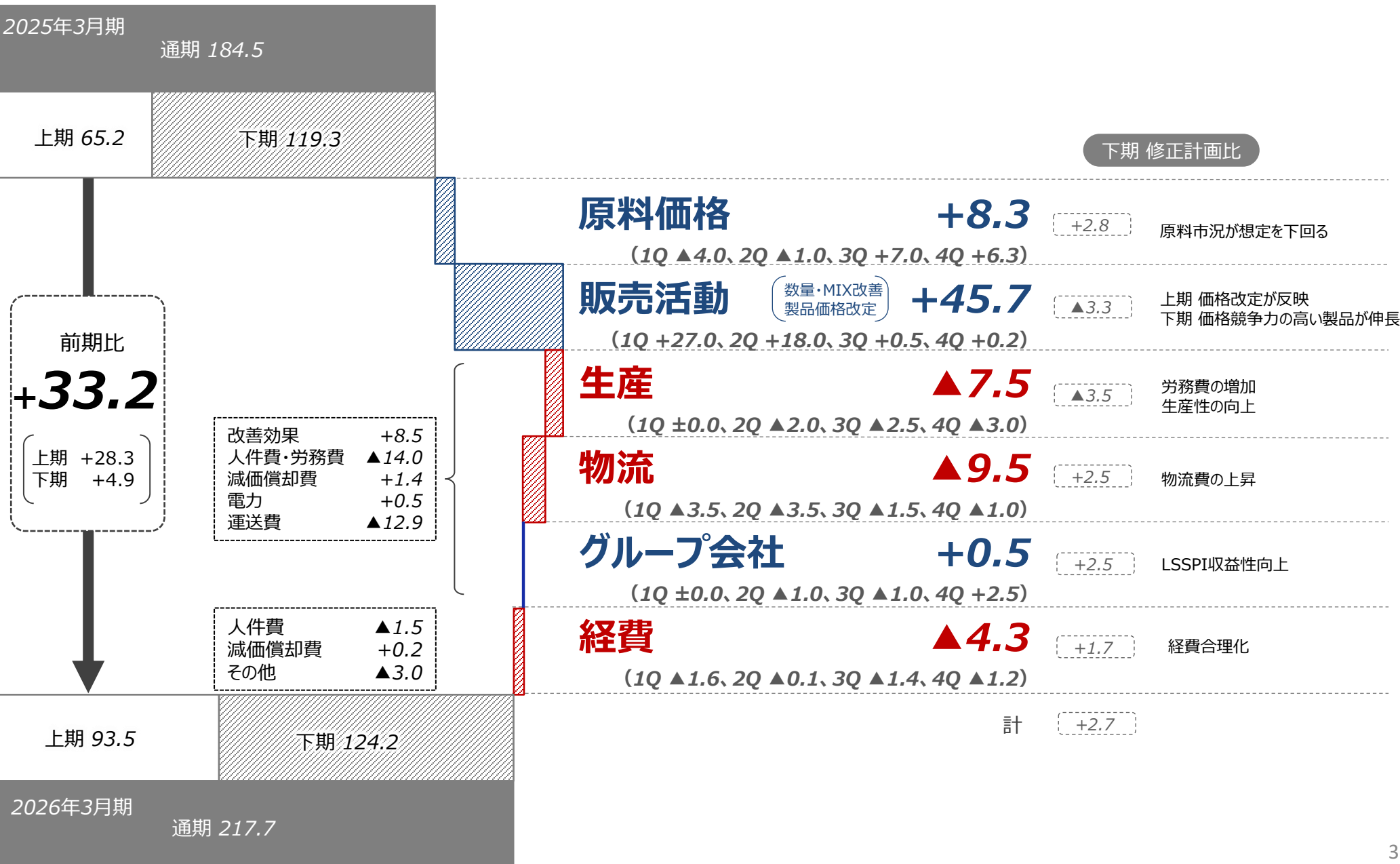
株主還元

- ✓ 年間配当金は1株当たり73円00銭（中間配当金31円50銭、期末配当金41円50銭）
- ✓ 連結配当性向 39.7%

※価格改定発表の状況 ①2021/10発表 10%以上 ②2022/4発表 15%以上 ③2024/4発表 15%以上

経常利益 利益増減実績 (2026年3月期)

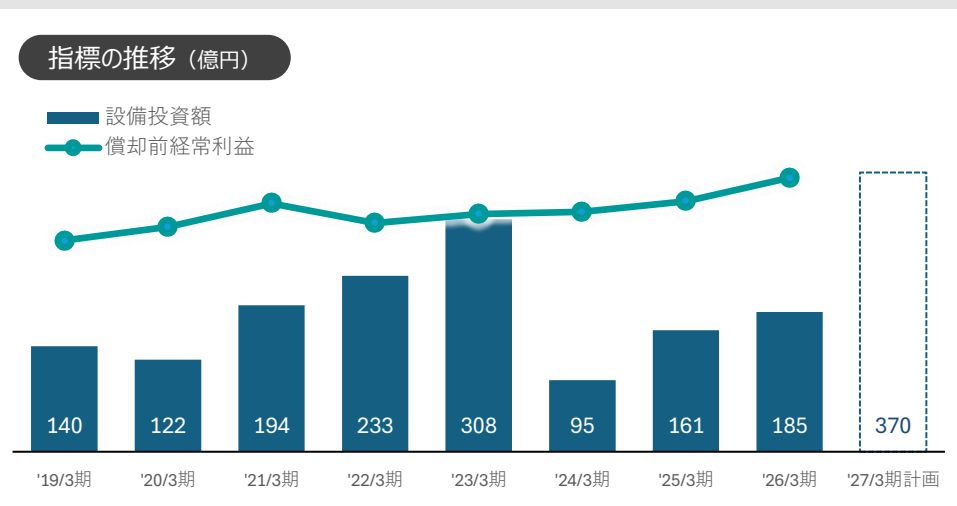
単位：億円



設備投資・研究開発費 (実績・計画)

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期			2027年3月期		
	通期実績	通期実績			通期計画		
	実績	実績	増減	前年比	計画	前年増減	前年比
有形固定資産	15,761	17,997	+2,236	114.2%	36,500	+18,502	202.8%
無形固定資産	351	534	+183	152.2%	500	▲34	93.5%
設備投資	16,112	18,532	+2,419	115.0%	37,000	+18,467	199.7%
減価償却費	14,751	14,594	▲157	98.9%	14,500	▲94	99.4%
研究開発費	1,543	1,903	+360	123.3%	(未定)	-	-

【主な設備投資】	稼働時期	投資総額	(百万円)	
			2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期計画
■ 既存素材製品に関する投資				
自動化設備の導入			554	495
筑西倉庫	2026年12月	1,473	47	1,033
金型			1,714	1,980
■ 新素材「新OPP」への投資				
坂東工場・配送センター (仮称)	2028年9月竣工 (概算)	58,000	4,739	22,023
神辺積層ライン	2026年11月	1,497	457	1,076
■ IT投資				
			666	504



貸借対照表 (2026年3月期 実績)

強固なインフラ基盤による参入障壁の確立と、健全な財務体質の維持

- 「製造」「物流」「リサイクル」を自社で保有する垂直統合型ビジネスモデル
最新鋭の工場・物流センターや自動化投資により生産性を向上
- 安定した自己資本比率を維持
格付けA格を取得、戦略投資を支える高い財務の健全性
- 棚卸資産のコントロール
食のインフラを支える安定供給と欠品ゼロを両立する在庫の最適化

	前連結会計年度		当連結会計年度			
	2025年3月期 2025/3/31	2026/3/31	増減	前年比	主な増減内訳	
(百万円)						
流動資産	98,847	105,439	+6,591	106.7%	現金及び預金	+6,458
固定資産	193,378	198,622	+5,244	102.7%	建設仮勘定 (内、新OPP製造装置等 +5,196)	+5,923
資産 合計	292,226	304,062	+11,836	104.1%		
流動負債	84,372	86,218	+1,846	102.2%	短期借入金	+986
固定負債	53,739	52,672	▲1,066	98.0%	長期借入金	▲1,028
負債 合計	138,111	138,891	+779	100.6%		
純資産 合計	154,114	165,171	+11,056	107.2%	利益剰余金	+9,088
負債純資産 合計	292,226	304,062	+11,836	104.1%		
自己資本比率	52.5%	54.1%				

キャッシュ・フロー（2026年3月期 実績）

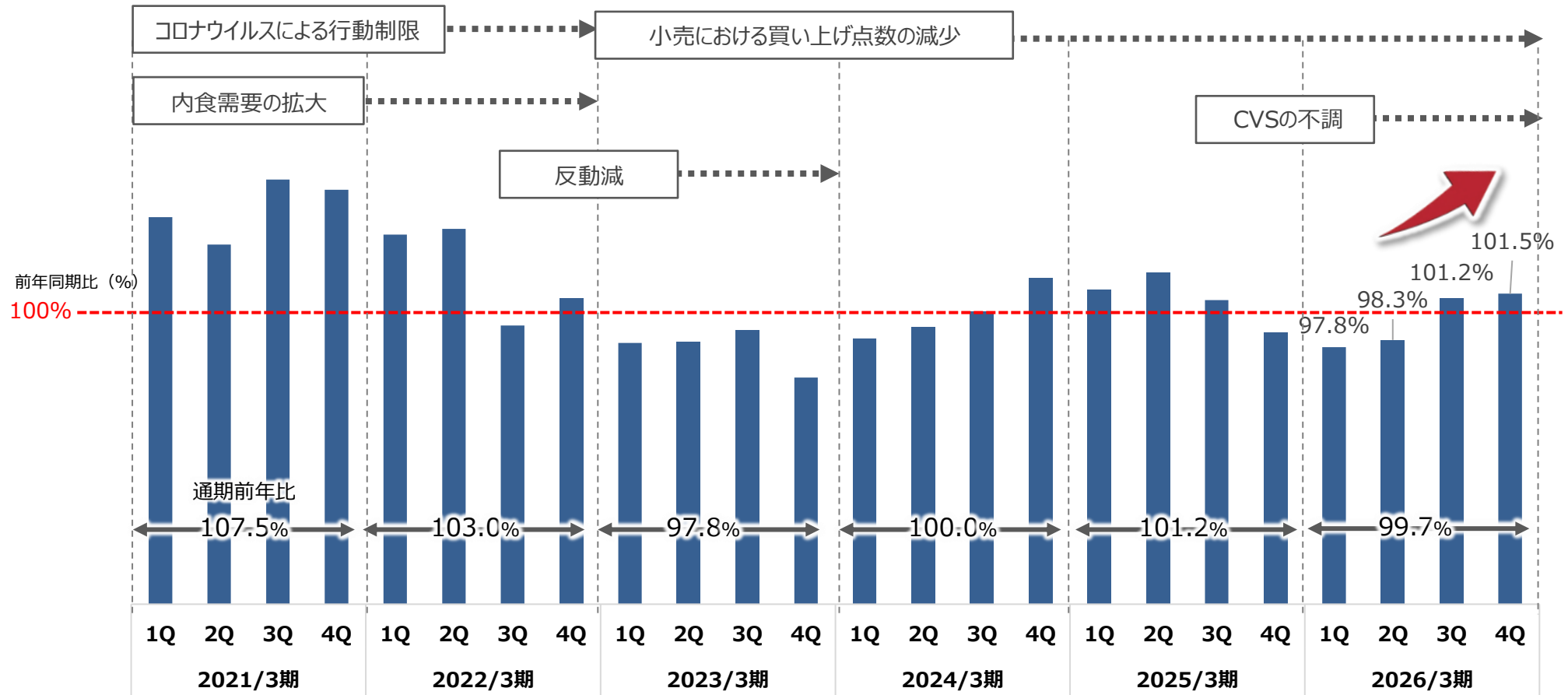
創出したキャッシュを成長投資と株主還元に分け、企業価値を最大化

- 安定した営業キャッシュ・フロー
景気に左右されにくい「食品容器」においてトップシェア、安定的なキャッシュイン
- 次の成長を図る投資キャッシュ・フロー
積極的な戦略投資により他社が追いつけない製造・物流ネットワークを構築
- 安定的な株主還元と成長投資を支える財務キャッシュ・フロー
配当性向40%を目途とし累進配当、財務の健全性を維持

	通期		主な内訳
	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	
営業活動によるC/F (百万円)	27,919	29,981	税金等調整前当期純利益 21,457 減価償却費 14,594 法人税等の支払額 ▲6,576
投資活動によるC/F	▲ 14,929	▲ 16,594	有形固定資産の取得 ▲16,012 (内、新OPPシート製造装置 ▲4,496) M&Aによる支出 ▲201
フリーキャッシュフロー	12,990	13,386	
財務活動によるC/F	▲ 18,070	▲ 6,928	配当金の支払額 ▲5,778
現金及び現金同等物の増減額	▲ 5,079	6,458	
現金及び現金同等物の期末残高	19,020	25,478	

製品販売数量の回復

食品を中心とした物価上昇が続く中、
高付加価値製品の販売拡大が寄与し、下期から回復基調



業績予想について

- 中東情勢の緊迫化に伴い、原料の調達環境は不透明な状況が継続
6月末までは安定供給できる見通し
情勢の推移を見極め、安定供給の見通しを精査したうえで、
業績予想を速やかに発表

価格改定について

- 原料価格等の高騰に対して、製品価格への転嫁を実施
収益性の維持・向上を図る
4月30日に価格改定を発表、6月1日出荷分より20%以上の改定を実施

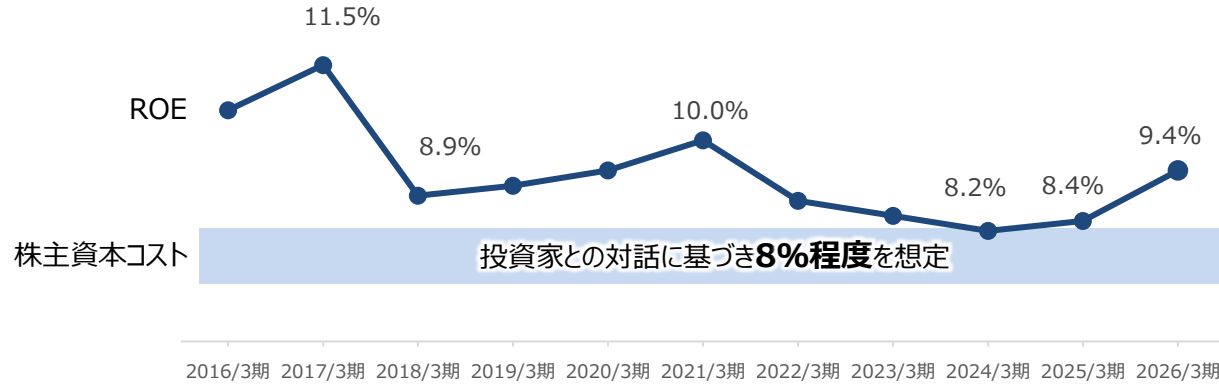
株主還元予想

- ✓ 累進配当に基づき、1株当たり配当は 73円00銭を予定

ROEの向上に向けた取り組み

積極的な成長投資を通じた収益拡大により、中長期的なROE向上を図る

ROEの推移



中長期的なROE向上へ

収益性の向上

- ・原料価格高騰に対する価格イニシアティブ
- ・冷凍マーケットのシェア獲得
- ・海外事業の成長
- ・新OPPによる収益拡大

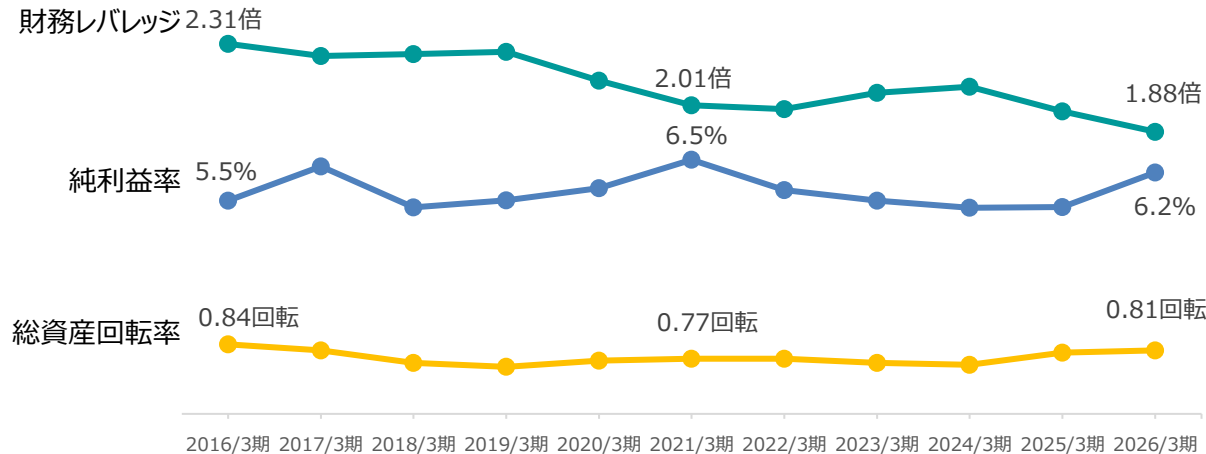
資産効率向上

- ・グループインフラを活用し包材問屋との連携強化
- ・M&A推進・業界再編

財務レバレッジ

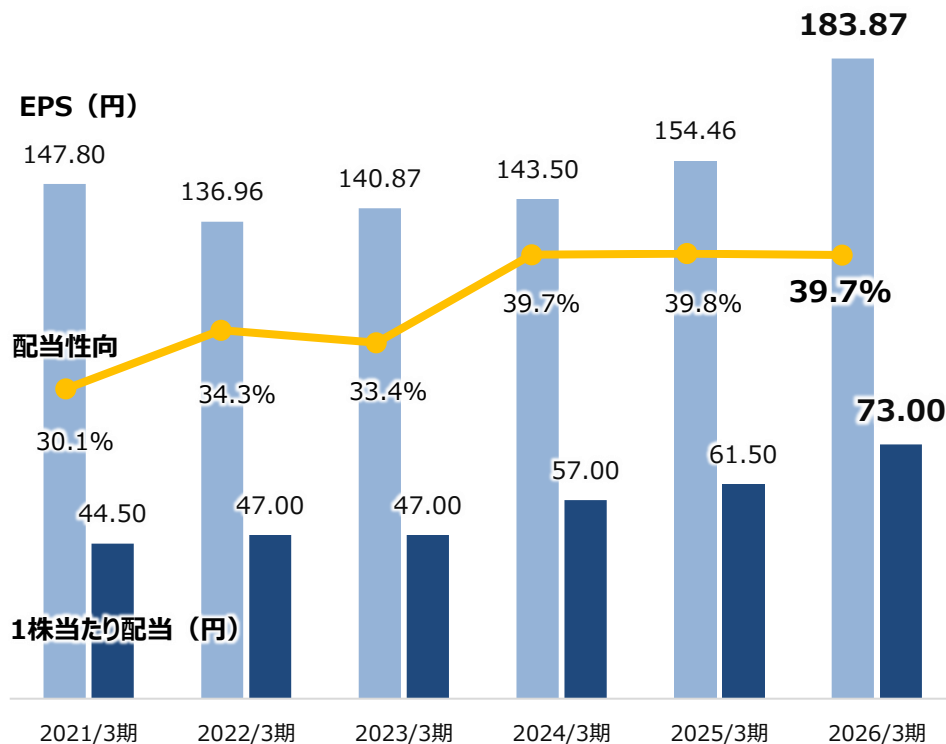
- ・有利子負債の有効活用
- ・累進配当による還元強化

ROE構成要素の推移



本業における稼ぐ力を磨くことで中期的な利益を拡大し、株主還元のさらなる充実を図る

株主還元の考え方



● 成長投資を通じた1株当たり純利益の拡大

- ▶ 2022/3期以降 相次ぐ原料高に対して、価格改定を実施
- ▶ 2026/3期 最高益

● 配当方針

- ▶ 2024/3期 配当性向**30%**→**40%**に引き上げ
- ▶ 2025/3期 累進配当

● 自己株式の取得

- ▶ 2021/3期 40億円
- ▶ 2024/3期 30億円

補足資料

決算概要 (2026年3月期 実績)



	通期 実績					通期 計画	
	2025年3月期 実績	2026年3月期			2026年3月期		
(百万円)	実績	実績	増減	前年比	数量	計画	計画比
トレー	44,497	47,042	+2,545	105.7%	101.5%	46,990	100.1%
弁当・惣菜	132,817	134,161	+1,344	101.0%	98.7%	136,166	98.5%
小計	177,314	181,204	+3,889	102.2%	99.7%	183,156	98.9%
その他製品	3,455	3,298	▲156	95.5%		3,494	94.4%
製品売上高	180,770	184,503	+3,733	102.1%		186,650	98.8%
包装資材	52,802	53,796	+993	101.9%		53,868	99.9%
その他商品	2,055	2,190	+134	106.5%		2,052	106.7%
商品売上高	54,858	55,986	+1,128	102.1%		55,920	100.1%
売上高	235,628	240,490	+4,861	102.1%		242,570	99.1%
営業利益	18,471	21,614	+3,143	117.0%		21,610	100.0%
経常利益	18,451	21,768	+3,316	118.0%		21,500	101.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,486	14,869	+2,382	119.1%		14,700	101.2%
償却前経常利益	33,203	36,362	+3,159	109.5%		36,200	100.4%

ROE	8.4%	9.4%
当期純利益率	5.3%	6.2%
総資産回転率	0.80	0.81
財務レバレッジ	1.98倍	1.88倍

- ✓ 売上高・各段階損益すべて過去最高
- ✓ 売上高：16期連続増収

特記事項

<製品>

- ・製品枚数 物価高による買い控えの影響で前年比99.7%
- ・エコ製品をはじめとする高付加価値製品の販売拡大により、3Q 101.2%、4Q 101.5%と回復基調
- ・上期 製品価格改定効果の反映

<商品>

- ・当社グループのインフラを活用した効率化提案
- ・PB品の販売強化

<海外>

- ・LSSPI社収益性向上

前年比 (実績)

(%)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期計画
製品売上高	105.6	103.7	104.6	100.2	99.1	99.7	102.1	103.3
商品売上高	102.6	101.5	102.0	101.1	103.4	102.1	102.1	101.9
経常利益	179.7	124.2	143.3	101.3	111.0	104.1	118.0	116.5
製品枚数	97.8	98.3	98.1	101.2	101.5	101.3	99.7	99.8

利益率 (実績)

(%)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期計画
営業利益率	6.8	8.7	7.8	12.7	7.1	10.2	9.0	8.9
経常利益率	7.0	8.6	7.8	12.8	7.1	10.3	9.1	8.9
純利益率	4.9	5.9	5.4	8.7	4.8	7.0	6.2	6.1



エフピコ統合報告書2026 2026年9月末 発行予定

統合報告書を通じた対話の充実により
さらなる企業価値向上を図ります

※表紙イメージ